

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービーズ
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=ガソリン価格低下の影響で物価の伸び鈍化継続へ

2023年7月10日

前回5月の米消費者物価指数(CPI)は前年比+4.0%と、市場予想通りながら4月の同+4.9%から伸びが大きく鈍化しました。変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア指数は同+5.3%と市場予想と一致し、4月の+5.5%から小幅な鈍化となりました。

前年比-11.7%と大きな下落となったエネルギー価格が全体の伸びを押し下げました。中でもガソリン価格が前年比-19.7%と大きく落ち込んでいました。食品価格は前年比+6.7%と、全体を上回る伸びとなったものの、伸び率自体は9か月連続で鈍化しました。

食品とエネルギーが目立ったものの、コア部分も弱い項目が見られました。コロナ過でサプライチェーン問題を受けて価格が一時高騰した反動で、このところ価格低下が目立つ中古車が、前年比-4.2%と7か月連続でのマイナス圏となりました。人の流れの回復もあって昨年夏から秋にかけてのピークで前年比+42.9%まで大きく上昇した航空運賃は、2か月連続でのマイナス。下落率も前年比-13.4%と前回の同-0.9%から大きく広がる弱い結果となっています。

6月30日に発表された5月の米個人消費支出(PCE)デフレータは前年比+3.8%、コア前年比+4.6%とほぼ予想通りながら4月より鈍化しており、物価の伸び鈍化傾向が印象付けられました。

こうした状況を受けて、12日に発表される6月のCPIですが、前年比+3.1%と前回と同じ0.9%ポイントの大きな鈍化が見込まれています。5月のCPIを押し下げたガソリン価格が今回も大きなマイナスになりそうです。ガソリンの小売価格は前月比で5.6%の低下となった4月から5月とは違い、5月から6月にかけては小幅上昇見込み。すでに出ているEIAの全米全種平均の小売価格を見ると、0.45%のプラスとなっています。ただ、比較対象元である2022年の大幅なガソリン価格上昇が響くと見られます。昨年6月のガソリン価格は前年比+59.9%と伸びのピークとなっていました。前月比でも+10.3%(季節調整済値、季節調整前で+9.9%)の大幅高となっています。それだけ伸びた数字から比較することで、結果的に大きなマイナスとなります。ちなみにEIA同様に前月比で0.45%の伸びだったと仮定した場合、前年比で-26.6%の大幅な低下となります。

食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+5.0%と前回から0.3%ポイントの低下見込み。コアがそれほど落ちてこない状況から、7月の利上げ期待はそのままとなりそうです。また、総合の低下要因となっているガソリン価格の低下についても、今回6月分が低下のピークとなりそうなだけに、年内複数回の利上げ見通しも基本的には継続となりそうです。

なお、今週はFOMC関係者発言が月曜日から金曜日まで多数予定されています。タカ派で知られるウォラーFRB理事の講演も予定されており、今後の利上げ継続に前向きな発言が出てくると見込まれます。指標結果だけでなく発言にも要注意です。

米国以外の材料としては、12日にNZ準備銀行(中央銀行)とカナダ銀行(中央銀行)の政策金利が発表されます。

NZ中銀は据え置きが見込まれています。0.25%の利上げを実施し政策金利を5.5%とし

た前回5月の会合で、政策金利の最終到達水準の予想を5.5%で維持し、今後の金利据え置きを示唆しました。

エコノミスト予想は前回の据え置き示唆を受けて据え置き見通しで一致しています。短期金利市場でも据え置きが圧倒的ですが、10%程度0.25%見通しが残っています。

カナダ中銀は0.25%の利上げ見通しとなっています。3月、4月と金利を据え置いたカナダ中銀は、前回6月7日の会合で大方の予想に反して0.25%の利上げに踏み切りました。消費者物価指数の高止まり懸念が背景にあります。

1-3月期のGDPが前期比年率+3.1%と好調で利上げ余地があることから、利上げ継続の期待となっています。もっともインフレーターゲットの2%にはまだ遠いとはいえ、6月27日に発表された5月のカナダ消費者物価指数は前年比+3.4%まで鈍化しています。その為据え置き期待もそれなりに上っており、エコノミスト予想でも見方が分かれています。短期金利市場での織り込みでは58.8%が0.25%利上げ、41.2%が据え置きとなっています。発表および声明内容次第の動きとなりそうです。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシーズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシーズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシーズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシーズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。